

第 1 2 回 意味論① 12-1

1

言語研究法（'19） 第12回 意味論①

意味とは何か？
（<第18講> & <第19講>）

2

今回のポイント

- 「意味」とは？ 「指示対象」との違い
定義的な意味、付加的・状況的な意味
- 意味のネットワーク、意味の関係
 - 上下（包摂）関係
 - 対義（反義）関係
 - 多義関係（↔同音異義関係）
 - 類義関係

3

意味と指示対象

■言語記号＝語
（第1回の図を90度
回転させたもの）

シニフィアン
（音や字形）

シニフィエ
（意味）

指示対象

4

意味と指示対象

■言語記号＝語
（第1回の図を90度
回転させたもの）

シニフィアン
（音や字形）
/inu/

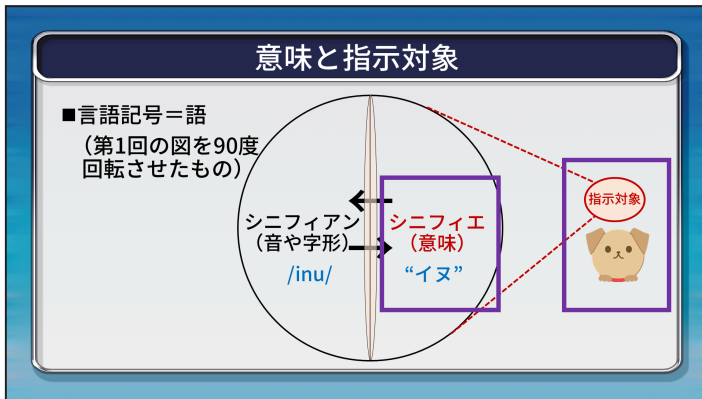
シニフィエ
（意味）
“イヌ”

指示対象


言語研究法 ('19)

第12回 意味論① 12-1

5



6

指示対象は具体的、意味は抽象的？

指示対象はつねに意味よりも具体の側にあり、意味はどの具体とも同じでない、とは言えるが…
but

指示対象が物理的に同定できるとは限らない：
 <例>「悲しみ」「愛」
 →むしろ、意味としては理解できるが、その指示対象がどこに・どうあるのか？とてもむずかしい。
 →そういうケースで比喻としての捉え方が発達する傾向
 (概念メタファー：「愛に溢れる」「悲しみに沈む」)

7

言葉は意味してしまう

指示対象がそもそも存在しない(確認できない)ケースも：「幽霊」「宇宙人」？

現実とは無関係に、言葉は意味を持ってしまう
 →言葉から産まれる物たち(たとえば「嘘」)

その最たるものが「妄想」
 ←周囲のちょっとした変化に意味を与えてしまうなど

言語研究法 ('19)

第12回 意味論① 12-2

8

デノテーション／コノテーション

■外示 [外延] ／共示 [内包] とも

<例> 「○△さんって、どんな人？」

a. 「大阪人だね」

b. 「東北人だね」

5

9

デノテーション／コノテーション

■外示 [外延] ／共示 [内包] とも

<例> 「○△さんって、どんな人？」

a. 「大阪人だね」 → 快活？ 笑い？ 功利的？

b. 「東北人だね」 → 朴訥？ 無口？

10

15

10

デノテーション／コノテーション

■外示 [外延] ／共示 [内包] とも

<例> 「○△さんって、どんな人？」

a. 「大阪人だね」 → 快活？ 笑い？ 功利的？

b. 「東北人だね」 → 朴訥？ 無口？

辞書が載せるような定義的意味、いわば最大公約数的意味が
デノテーションしばしば個人的な、語が喚起する情緒的・状況的な意味が
コノテーション

20

25

11

コノテーションで有名な辞書

■『新明解国語辞典』三省堂 (例はいずれも第7版より)

「恋愛」 特定の異性に対して他の全てを犠牲にしても悔い無いと思ひ込むような愛情をいだき、常に相手のことを思つては、二人だけでいたい、二人だけの世界を分かち合いたいと願い、それがかなえられたと言つては喜び、ちょっとでも疑念が生じれば不安になるといった状態に身を置くこと。

「公僕」 (権力を行使するのではなく) 国民に奉仕する者としての公務員の称。〔ただし実情は、理想とは程遠い〕

「酒」 米・こうじで醸造した、日本特有のアルコール分を含む飲料。適量を過ぎずと酔う。

30

35

12

- 語の単純な集まり＝語彙、ではない
- 意味の関係によるネットワーク「意味場」
- 意味場を構成する関係：
 - 類義関係、対義（反義）関係
 - 上下（包摂）関係
 - 多義関係（⇔ 同音異義関係）、etc.

13

[illegible]

図2 名詞の意味体系と単語(ホテル)の対応関係例

『日本語語彙大系CD-ROM版』
NTTコミュニケーション
科学基礎研究所より

14

[illegible]

(前スライドの拡大図)

15

<例3> ぶどう／巨峰、ピオーネ、甲州、マスカット、
etc.

第12回 意味論① 12-3

16

カテゴリーとメンバーの間

■カテゴリー～メンバーの適切な位置取り

<例> 「ご出身は？」

a. 「地球です」

5

17

カテゴリーとメンバーの間

■カテゴリー～メンバーの適切な位置取り

<例> 「ご出身は？」

a. 「地球です」 → 宇宙人??

10

15

18

カテゴリーとメンバーの間

■カテゴリー～メンバーの適切な位置取り

<例> 「ご出身は？」

a. 「地球です」 → 宇宙人??

b. 「上田です」

20

25

19

カテゴリーとメンバーの間

■カテゴリー～メンバーの適切な位置取り

<例> 「ご出身は？」

a. 「地球です」 → 宇宙人??

b. 「上田です」

「上田、ああ長野県の？」

30

35

第12回 意味論① 12-3

20

カテゴリーとメンバーの間

■カテゴリー～メンバーの適切な位置取り

<例> 「ご出身は？」

a. 「地球です」 → 宇宙人??

b. 「上田です」

「上田、ああ長野県の？」

「いえ岩手県盛岡市上田」 → そんな細かい住所??

21

意味の関係②：対義語

■対義語（反義語とも）

- 上下、左右、大小、遠近、優劣、有無、生死、など
世界の基本認識に関わる対概念
- 売る－買う、教える－習う、夫－妻、など“対称的”な
点で対と見なすもの （「反義語」？）
- 文化的な産物でもあり、必ずしも普遍的でない
山－川、甘い－辛い（日本）
'sweet' － 'bitter' (Eng.) etc.

言語研究法 ('19)

第12回 意味論① 12-4

22

意味の関係③：多義語、同音異義語 (1)

- 同音異義語 (別の語と認定されるもの)
 - <例> 「貴社の記者は汽車で帰社」
同音異義語が4つ (漢語に多い)
- ・外来語も音素体系の相違によって同音異義化する
 - <例> 「ライト」 'light' 光 / 'right' 右
- ・和語では
 - <例> 「川／皮」 「雲／蜘蛛」

5

23

意味の関係③：多義語、同音異義語 (2)

- 多義語
 - 同一語または同語源からの意味分化による
 - <例1> 「熱い／暑い」
 - <例2> 「冷める／醒める／覚める」
- ・同じ表記の場合
 - <例3> 「上がる」
「屋根に上がる」 「風呂から上がる」 「学校に上がる」
「気温が上がる」 「仕事上がる」 「雨が上がる」 etc.

10

15

24

意味の関係③：多義語、同音異義語 (3)

- 多義と同音異義の境界は連続的
- ・Eng. 'right' 「右」「正しい」は同語源だから多義
しかし、意味的な類似性は強くなく、辞書では別語
(同音異義語)として扱われることも
- ・「魚／肴」は？
「酒のさかな」から独立して「肴」になった？
「魚」をはじめとする「酒のさかな」にすぎない？
- ・「さめる」「あがる」は各々和語としては一つ？

20

25

25

意味の関係④：類義語 (1)

- 意味が似ているから類義語
しかし、何かが違うから別の語
→ じつは使い分けを理解しないと習得できない！
- <例1> 「あがる」「のぼる」
 - ・富士山に {×あがった／○のぼった}
 - ・どうぞ2階に {○あがって／×のぼって}
- 「あがる」は〈到達点〉、「のぼる」は〈過程〉

30

35

言語研究法 ('19)

第12回 意味論① 12-4

26

意味の関係④：類義語 (2)

- <例2> 「道」「通り」「道路」
- ・ 人出の多いにぎやかな {○道／○通り／×道路}
 - ・ {△道／×△通り／○道路} の工事中
 - ・ 駅への {○道／×通り／×道路} を尋ねる
- 「道路」は物理的な〈構築物〉を指し、
「道」「通り」は人が活動したり通る〈場所〉
比べると、「通り」は〈活動〉の方に焦点がある

5

27

意味分析 (成分分析)

- 類義語の意味の相違を抽出する方法
- ・ 同じ文の中で使うことのできる類義語について
 - ・ 文を様々に変えたとき {○／△／×} が分かれる
 - ・ 容認性の差が出る文脈上のポイントを特定する
- <例> 〈到達点〉が焦点だと「のぼる」が×で
〈過程〉が焦点だと「あがる」が×
- ・ 抽出された成分が「意義素」
→ 語の意味の相違を意義素の相違として説明できる

10

15

20

25

30

35